

平成24年10月25日

北海道開発局

評価軸ごとの評価を行う  
新規利水対策案（工業用水）の概要

# 概略評価（案）により抽出した 新規利水対策案（工業用水）一覧表

	現計画案	ダム再開発 （掘削）案	地下水取水案	ため池案	既得水利の 合理化・転用案
ダム	幾春別川 総合開発事業 （新桂沢ダム）				
供給面での 対応（河川 区域内）		ダム再開発 （掘削）			
供給面での対応 （河川区域外）	水源林の保全	水源林の保全	地下水取水  水源林の保全	ため池（取水後の 貯留施設を含む）  水源林の保全	地下水取水  水源林の保全
需要面・供給面での 総合的な対応が 必要なもの	濁水調整の 強化  節水対策  雨水・中水 利用	濁水調整の 強化  節水対策  雨水・中水 利用	濁水調整の 強化  節水対策  雨水・中水 利用	濁水調整の 強化  節水対策  雨水・中水 利用	既得水利の 合理化・転用  濁水調整の 強化  節水対策  雨水・中水 利用

# 各新規利水対策案(工業用水)の概要

### 現計画案



貯水容量 : 130万m<sup>3</sup>

### ダム再開発(掘削)案



貯水容量 : 130万m<sup>3</sup>

### 地下水取水案



井戸 : 17本

### ため池案



貯水容量 : 130万m<sup>3</sup>

### 既得水利の合理化・転用案



井戸 : 16本

整備内容

整備内容

◆新桂沢ダムにより、必要な開発量を確保する。



## 新桂沢ダム諸元

堤高 : 75.5m (かさ上げ高11.9m)  
堤頂長 : 406.5m  
型式 : 重力式コンクリートダム

## 新桂沢ダム容量配分図

(総貯水容量 147,300,000m<sup>3</sup>)



# 新規利水対策案（工業用水）の概要 ダム再開発（掘削）案

◆既設の桂沢ダム貯水池内を掘削し、必要な開発量を確保する。



桂沢ダム諸元

堤高 : 63.6m

堤頂長 : 334.25m

型式 : 重力式コンクリートダム

桂沢ダム容量配分図  
(総貯水容量 92,700,000m<sup>3</sup>)

掘削により新たに確保する容量  
1,300,000m<sup>3</sup>



◆取水地点付近に井戸を掘削し、必要な開発量を確保する。



井戸：270m×17本

※評価軸ごとの評価を行うにあたり、既設井戸のサンプル数を増やし検討を実施している。

# 新規利水対策案（工業用水）の概要 ため池案

◆取水地点付近にため池を設け、雨水や地区内流水を貯留し、必要な開発量を確保する。



ため池	: 1箇所
貯水容量	: 130万m <sup>3</sup>

# 新規利水対策案（工業用水）の概要 既得水利の合理化・転用案

◆由仁町上水道事業の既存の水利権を転用できると仮定（必要な開発量の1/10程度）し、不足する分について、取水地点付近に井戸を掘削し、必要な開発量を確保する。



井戸：270m×16本